

豊平館から見る札幌・函館・小樽の名建築のみどころ



豊平館は「開拓使の建築文化を代表」し、「わが国洋風建築史学上からも重要な建築物」と評されています。工業局営繕課の安達喜幸の設計、大岡助右衛門の請負によって、明治13年(1880)に完成しました。

そのデザインは極めて洗練され、遠く古代ギリシア・ローマから19世紀アメリカまでの建築に由来する「かたち」を組み合わせています。講座では、豊平館の円柱と柱頭飾、ペンキ塗りの外壁と上げ下げ窓、シャンデリアと中心飾などを札幌・函館・小樽の洋風の名建築と比べながら、それぞれの見どころを紹介します。



日時 2025年10月17日(金曜) 17:30~19:30 (開場17:15~)

講師 駒木 定正氏 (北海道職業能力開発大学校 特別顧問)

場所 札幌市豊平館 広間 (札幌市中央区中島公園1-20)

料金 無料

定員 先着60名 ※事前に申し込まれていない方は聴講できません

申込先 豊平館 TEL011-211-1951 受付開始: 9月18日(木曜) 9時より電話受付

■主催 豊平館 (指定管理者: 一般財団法人北海道歴史文化財団)

■連絡/申込先 〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-20 TEL011-211-1951

■アクセス情報 ・駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい

・地下鉄南北線「中島公園」駅3番出口より徒歩5分/市電「中島公園通」電停より徒歩5分